

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できてい ない ことが多 い	全く できて いない		
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>									
<b>(1) 理念の明確化</b>									
①	サービスの特 徴を踏まえた 理念の明確 化	1	当該サービスの特徴である「利用 者等の在宅生活の継続」と 「心身の機能の維持回復」を実 現するため、事業所独自の理念 を掲げている	5	20	1	0	・定期巡回随時対応型サービスの仕組み として、自宅が居室、道路が廊下という考 え方で在宅でも病院や施設と同じサー ビスがあれば在宅生活の継続が出来るとい う考え方が事業所内で浸透しており、地 域全体を施設と捉え、自分や家族が利用 したいと思えるようなサービスの提供を目 指している。	・前園長が言い続けているので理解されている。 ・特徴を理解した上でサービスの開始継続になっ ていると感じる。 ・住み慣れた自宅で終末期まで援助が受ける事が 出来る為、不安が軽減されると思う。 ・家族を自宅で最後まで看取った経験から、この サービスを聞いてやっといい仕組みができたと期 待している。
<b>(2) 適切な人材の育成</b>									
①	専門技術の 向上のための 取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念に ついて、その内容を十分に認識 している	7	18	1	0	・ほとんどの職員がほぼ理解できている。	・今後も専門技術の向上に向けレベルアップをお 願いたい。
		3	運営者は、専門技術の向上の ため、職員を育成するための具 体的な仕組みの構築や、法人 内外の研修を受ける機会等を 確保している	7	14	5	0	・毎月事業所内の研修の中で緊急時の対 応や専門技術の向上の為の機会を確保 している。 ・また、法人内研修では園全体での、新 人、中途、役職等の研修があり、対象者 は全員参加している。ただし、勤務上の問 題で援助優先の為、なかなか法人外研修 に参加できる機会が取れていない。	・推進会議で研修の報告を聞いている。 ・研修は現場で生きる適切な内容と思う。 ・法人内の研修内容も教えて頂きたい。 ・定期的な取り組みが専門技術の向上育成に役 立っている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価 コメント	
				実施状況					事業所コメント
				でき ている	ほぼ でき ている	できて いない ことが多 い	全く できて いない		
<b>I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]</b>									
<b>(2) 適正な人材の育成</b>									
①	専門技術の 向上のための 取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	3	21	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供希望時間に合わせ、職員の能力も考慮しながら業務表を作成している。</li> <li>また、できるだけ少人数での訪問を希望の方もおり、曜日にあわせ限定職員の出勤日も勤務表に反映させている。</li> <li>しかし3交代制で夜勤遅番もあり、調整が難しい。また、固定にデメリットもある為、ゆとりがある時に同行する様にし、統一した援助、個々のスキルアップにも繋がる様、検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者第一と考えてる姿勢取り組みが評価できる。</li> <li>一人の利用者に3人位のヘルパーで対応できればベスト</li> <li>出来ればどの人も同じくらいのレベルまで行ければいいと思う。</li> </ul>
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	4	16	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護介護のと共有のミーティングは取れていないがタブレットでの確認の他、重要な事は口頭、メモで直接伝え情報共有が行えている。</li> <li>今後は情報の共有の機会を持ちたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングも行い情報共有を行えるといい。</li> <li>タブレットの情報共有をすすめてほしい。</li> </ul>
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	6	13	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた職員数の為、ご利用者様の希望に添えていない所もあるが、訪問件数も多く、回り切れない時は、適宜、勤務変更をし対応している。</li> <li>定期巡回の職員の勤務はフレックス制を利用しギリギリの所を確保しているが、ご利用者様の本当に必要な時間に対応できてない所もあり事業所の都合で合わせて頂いてる所もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの優先順位を考えるのもいいと思う。</li> <li>希望をくみ取りつつ、工夫している姿勢が見られており評価できる。</li> <li>2チーム位に分けて一人の利用者を担当できるといい。</li> <li>利用者のニーズに対応してほしい。</li> </ul>
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	7	16	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内で改善できる事は、即、改善に取り組んでいる。ご利用者様の状態において出された要望、意見は常に柔軟に対応する様に努めている。</li> <li>推進会議により意見を聞ける機会があり、サービスの改善へ繋げるように意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットによる業務表の作成も有効かもしれない。</li> <li>会議での活発な意見交換が少ないかもしれない。</li> <li>機会の充実にも今後期待します。</li> <li>会議に出た利用者の意見にすぐ対応していた。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	番項目	項目	事業所評価				外部評価 コメント	
				実施状況					事業所コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>									
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	7	19	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの使用でご利用者様の情報の共有が出来ている。</li> <li>・ただし、基本状況の更新の入力訂正が遅れてしまい、改善していかないといけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを大いに活用できている。</li> <li>・更新の入力訂正が遅れている原因を確認して改善してほしい。</li> <li>・現状の認識・問題が明確にできている。</li> </ul>
<b>(5) 安全管理の徹底</b>									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	7	18	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修カリキュラムに入れたりサポートセンターでの防災に参加している。</li> <li>・災害の経験も生かし、対応方法もマニュアル化している。</li> <li>・事故・防災・緊急のマニュアルあり、誰もが対応出来る様にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な取り組みやマニュアルを紹介してほしい。</li> <li>・マニュアル他と周知、定期的な意見での研修も行われており十分評価できる。</li> </ul>
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	9	17	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いの規定保護法については年1回の研修に取り入れており、事業所の入り口に提示している。</li> <li>・ご利用者様の個人情報はタブレットで共有しているが、事業所管理で万が一トラブルがあっても、ヘルパー以外の方はパスワードが必要なので他の人は見れない様になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットやファイルの持ち帰りなどはないでしょうか？</li> <li>・個人情報の取り扱いに十分気を付けていると思う。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない		
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	2	22	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者の生活リズムを考慮した上で訪問を組んでいるが、希望時間が重なった時は重度の方を優先し、援助内容や複数訪問している中で、時間変更できる所は提案している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた時間でのサービスは利用者様すべての希望を取り入れる事の難しさを感じる。</li> <li>必要な時に必要なだけがモットーなのだから希望通りに訪問できる様に望みます。</li> </ul>
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	5	20	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の評価表をお互いに送りあい、情報の共有に努めている。</li> <li>日々の共有にはタブレットを使用しているが、確実に緊急時は電話などで対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このまま継続を願います。継続して共有に努めて行きたい。</li> <li>見方の違いなど参考になっている。</li> </ul>
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	4	22		0	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅生活での継続を望まれサービス利用されている為、ご本人の出来ることはして頂き、できない所を援助する様にし、機能低下にならない様に計画作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このまま継続願います。</li> <li>月に一回の看護のアセスメントを参考にし、予防の視点で取り組んでもらいたい。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	番号 項目	項目	実施状況				事業所コメント	外部評価 コメント
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない		
				事業所評価					
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	2	13	5	わからない 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療依存度を高めないように、状態に合わせた計画書を作成している。</li> <li>・現状維持支援が中心だが利用者様の変化に対して看護との連携で早期対応している。ケアマネのプランから計画を事業所として計画を立て直すので変化時や気づいた時はケアマネに伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後他職種と連携を推し進めてほしい。</li> <li>・具体的な内容が良くわからないので、事例等で教えてほしい。</li> <li>・連携を図りながらケアマネを通じて柔軟に援助に結びついていると感じている。</li> </ul>
<b>今後も</b>									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	12	13	0	わからない 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様本位、優先に対応している。</li> <li>・ご利用者様の変化時や状況に応じて、必要なサービスを追加するなどし柔軟に対応するように努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員により個人差はあると思う。</li> <li>・柔軟な対応が不満に残らない様に利用者様に十分な説明をするとうい。</li> <li>・緊急のコールで対応してもらい、利用者様優先になっていると感じる。</li> <li>・利用者様本人家族に意向にそうサービスを今後もお願いしたい。</li> </ul>
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	9	16	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月計画書に実施内容と振り返り、評価を行い、ご利用者様等の状況変化の早期把握に努め、ケアマネにも伝え計画に反映する様にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ていると思う。</li> <li>・良く観察されていると思う。</li> <li>・毎月の評価は担当者がやっているのか？振り返り→評価→ケアマネに伝える。という流れが出来ている。</li> </ul>

タイ 番号 ル	タイトル	番 項目 目	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき ない こと が多 い	全 く でき ない		
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	8	⑱	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護看護の必要性、専門性を生かし、効率、効果的にサービス提供できるようになった。</li> <li>・現状お互いのできる範囲で内容により協力して効率よく回れる様に調節している。</li> <li>・ヘルパーでできない事は細かいが、法令に沿い、きちんと説明しながら行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は介護・看護の区別がつかない方もいる。</li> <li>・細かい法令が利用者様には理解しにくい。</li> <li>・看護中心ではなく、お互いが利用者を支える専門職の一員としてチームで連携していくと良い。</li> <li>・介護・看護が連携それぞれがうまく、サービスの提供が出来る。</li> </ul>
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	4	⑲	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護から介護に対して相談時に維持、回復などの助言をもらっている。</li> <li>・指導・助言の受身だけでなく積極的聞いていく事も必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携は取れていると思う。</li> <li>・デイサービスのリハの人は専門だが、訪問看護でのリハも力を入れてほしい。</li> <li>・介護・看護の専門性を生かしお互いに助言してほしい。</li> </ul>
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	6	⑲	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約の際にご家族、ご利用者様にサービスについて重要事項で説明し同意を得るように行っている。</li> <li>・最初は理解していてもサービスが進むにつれご利用者様も忘れてしまう事もある。契約際に説明不足の所もあるので改善が必要。</li> <li>・情報提供は常にご家族にお伝えし、制度上できる事できない事を説明し理解して頂いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な時に再度説明を行ってほしい。</li> <li>・説明はあったが、高齢者様相手の為理解して貰う事が難しいと思う。</li> <li>・いつ聞かれても対応できるように心がけと周知が出来ていると安心。</li> <li>・ここで意識のズレがない様丁寧な説明が必要と思います。</li> <li>・サービス開始後も定期随時の理解をどのように継続してもらうかという事が課題。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	番 項 号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	ほぼ でき ている	できてい ない ことが多い	全く でき て いない		
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>									
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	5	19	1	0	・計画の説明をしてもご利用者が目標として意識していない所もあり、援助を行いながら、伝えて行き、目標、内容を意識出来るように努めている。	・相手の理解度により、難しい事もあるかと思う。 ・努力していると思う。 ・丁寧な説明で共通性を深めていければいい。 ・利用者様に目標として意識して頂いた所をスタッフ間で共有して働きかけてほしい。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	4	21	1	0	・変化時には、常にご家族にも状況を伝え、信頼関係を築く様にし、ご家族からも相談しやすい関係づくりを努めている。 ・サービスが変わる時はご本人、ご家族と話し合うようにしているが、独居のご利用者様が多くご家族の考えが伝わってこない方もおられる。 ・同居していないご家族への報告はタイミングがずれる事もあるが伝えるべき判断時には報告している。	・家族とも報告・連絡・相談は重要なので充分に行って下さい。 ・きちんと実施されていると思う。 ・適宜家族への連絡は行われていて、相談しやすい。 ・関係作りに努めている。という事なので、これからも継続してもらいたい。
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>									
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	5	20	1	0	・ヘルパー間でタブレットで共有し、ケアマネには月1回の評価表で共有している。ただし、状態の変化時や早期対応が必要な時は援助優先に行い、事後報告でお伝える事もある。	・良くやっていると思う。 ・計画変更時にキーマンである、ケアマネとの関係。 ・親密に情報交換が可能かタブレットの共有。 ・状況に応じつつ、情報共有やサービス提供ができています。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	3	22	1	0	・計画作成の判断でご利用者の状態を伝えて行き、必要時にはヘルパーからサービスの提案も行っている。 ・まだまだこのサービスの中ですべてを解決しようとするケアマネやご利用者もあり、特に生活援助を見直していきたい。	・良くできていると思う。 ・地域内のフォーマル、インフォーマルや生活援助サービスについて改善、提案をすすめて下さい。

タイトル 番号	タイトル	番 項 号 目	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき て い る	ほ ぼ でき て い る	でき て い ない こ と が 多 い	全 く でき て い ない		
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>									
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	15	⑪	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期随時サービスにより、通常のヘルパーよりもご本人の生活が把握でき、情報提供できている。</li> <li>ケアマネージャーに月1回での評価表を渡すと同様、連携訪問看護にも情報提供し医療との連携に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期随時サービスの強みを活かして、ケアマネ、訪問看護への提供が行われている。</li> <li>いつも情報を頂いている。</li> <li>よくやっている様子がわかる。</li> </ul>
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)						<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種の連携をするためには、情報を共有した会議だけでなく時間を取らない方法。</li> <li>有効なタブレットの共有方法。</li> </ul>
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)						<ul style="list-style-type: none"> <li>有効なタブレットの共有方法。</li> </ul>



タイトル 番号	タイトル	番号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>									
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)					<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを利用し、訪問看護とは情報共有しながら、連携が取れている。</li> <li>・訪問看護とは病院とも共有している所まで来ているが、まだ始まったばかりである。</li> </ul>	
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>									
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	7	13	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信としては遅くとも一週間で掲示している。</li> <li>・いつでも誰でも見れる様にもいう所で、サービス事業所入り口には掲示している。</li> <li>・場所の検討必要。どこにあるか？わからないというスタッフもいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議終了後、スムーズに掲示している。</li> <li>・掲示場所が分かりやすくなると良い。</li> <li>・外部者は分からない。</li> <li>・周知100%は難しいが、努力しきちんと管理されている。</li> <li>・情報発信は早いほど有効だ。</li> </ul>
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	4	13	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスについての説明会などは行っている。</li> <li>・推進会議や高齢者センターで行われている地域のお茶の間などを利用し、周知してもらえる様に努めている。</li> <li>・知らない人や誤解している人もいると思う。まだまだ真のサービスの周知までとはいかない。</li> <li>・職員の間でも勉強会などをを行い、知識を広める為の活動などを身につける事が必要。</li> <li>・各スタッフとしてなかなか発信する機会がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいサービスのため、今後、広報周知が必要。その方法を推進会議で検討していきたい。</li> <li>・地域の中でどう広めていくか発信の機会を作っていきたいと思う。</li> <li>・回覧板の方が目につく。町内会経由で見てもらったらどうか。</li> <li>・市から発信してもらおうとよい。</li> <li>・ある程度理解できる年齢層に理解してもらおう。</li> <li>・1回でなく事例を含め回数が必要。</li> <li>・いろいろな場での発表会や研修などの開催も検討して欲しい。</li> </ul>

タイ 番号 トル	タイトル	番 項 号 目	項 目	事業所評価				外部評価 コメント	
				実施状況					事業所コメント
				でき て い る	ほ ぼ でき て い る	でき て い ない こ と が 多 い	全 く でき て い ない		
<b>II 過程評価(Process)</b>									
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>									
<b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	0	16	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>第6期計画書を確認しているが個々のスタッフまでの周知には検討が必要で今後も努力していかねばならない。</li> <li>行政からの発信を確認していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムの中で、このサービスが期待されている役割を明確にしていきたい。</li> <li>やっつけていくのは大変だが、求められていると思う。</li> <li>今後も、推し進めて欲しい。</li> </ul>
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	11	15	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>園としてはサービス開始当初から地域へ展開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域での認知度が薄い。今後の対策を検討する必要がある。</li> <li>地域性、利用者家族のニーズを分析して事業を展開して欲しい。</li> </ul>
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <b>(※任意評価項目)</b>						<ul style="list-style-type: none"> <li>病院での退院時にサービスについて周知して頂けると良いと思う。</li> <li>大変良いサービスの為、これからも地域の中で折にふれ話題提供に努めていきたい。</li> </ul>

タイトル 番号	タイトル	番 項 目 号	項目	事業所評価				事業所コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき て い る	ほ ぼ でき て い る	でき て い ない こ と が 多 い	全 く でき て い ない		
<b>Ⅲ 結果評価(Outcome)</b>									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	5	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月計画書を元にして、計画書通りに行っているのか？目標が達されているのか？を評価しケアマネに報告している。評価する事により、サービスの足りない部分などを見なおし、ご利用様が計画目標の達成が図られているか確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に計画書の評価や見直しが行われている。常に振り返りが必要です。今後も継続して行って下さい。</li> <li>全員が出来ているという事は立派である。評価できる。</li> <li>一方的なサービスの提供ではなく、家族の意向を深く組み入れてほしい。</li> <li>すべてを切り取り、出来る所と出来ない事を利用者が納得いく説明のもとでサービスを提供してほしい。</li> <li>ケアマネがサービスの評価を最終的に評価しているのか？</li> </ul>	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	10	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族の中には、病院から退院の際にもう施設に入るしかない。と思っていたが、定期随時を使う事により在宅生活が可能になった。病院から定期随時だから退院の許可が出せた。など聞かれており、安心感が得られていると評価している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の地域ではなく市内全域の事業となるように期待しています。</li> <li>在宅するにはありがたいサービスだと思う。広く周知してほしい。</li> <li>利用者様の生活を支えていられ感謝の言葉を良く聞かれます。大変評価できる。</li> <li>定期的に来てくれるのはありがたく、自宅にいれる。</li> <li>このような事例が増えるといい。</li> <li>在宅生活を支えるサービスとして安心感が得られている。</li> </ul>	